

**令和6年12月第4回 木島平村議会定例会**  
**《第2日目 令和6年12月4日 午前10時00分 開議》**

**議長（勝山 正）**

おはようございます。

（全出席者「おはようございます。」）

これから本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりです。

日程第1、一般質問を行います。

一般質問の順序については、議会運営委員会において抽選のとおりです。

なお、質問は通告に基づいて行ってください。

理事者及び課長・室長の自席での答弁については、9月議会での試行を経て、今議会から実施となりましたので、ご了承をお願いいたします。

4番 山本隆樹 議員。

（「はい、議長。4番。」の声あり）

（4番 山本隆樹 議員 登壇）

**1. 村内で進められている県工事の状況について**

**4番 山本隆樹 議員**

おはようございます。

通告に基づき、2点質問いたします。回答はわかりやすく、早口にならないようお願いいたします。

それでは、1点目。村内で進められている県工事の状況について。

現在、村内で継続的に進められている長野県が実施する工事のうち、1級河川大川の改修工事と一般県道七曲西原線の改良工事の関係で、現状の工事実施や進捗状況、これは議員としても県に陳情している件でもありますが、今後の工事予定の2件について伺います。

1件目、1級河川大川の改修工事についてです。

1級河川樽川との合流地点から市之割地区下段の国道403号隣接付近にかけての区間は、護岸整備がされていない未改修の河川であり、急カーブで蛇行を繰り返す箇所が何か所も存在することで、豪雨の際には流れが悪く、河川に隣接する水田畦畔付近まで侵食することもあり、河川に隣接する土地の地権者や耕作者の皆さんも心配されています。これは新橋地区組合の課題にもなっています。実際、近年でも、応急復旧していただいている箇所も何か所か存在しています。

何年も前から、樽川合流部分から河川改修工事を進めていただいているが、なかなか進んでこないというのが素直な感想です。

村としても、県へ継続的に改修要望していることは承知していますが、この区間の工事概要や進捗状況、今後の計画について伺います。

**議長（勝山 正）**

日臺村長。

**村長（日臺正博）**

それでは、山本議員の「工事の状況について」であります。大川の改修工事、それからまた県道七曲西原線の改良工事につきましては、共に県が工事を進めております。村としても、事業の促進を要請しております。

それぞれの進捗状況について、担当課長に答弁をさせます。

## 議長（勝山 正）

小松建設課長。

## 建設課長（小松宏和）

1級河川大川につきましては、県管理の河川であり、北信建設事務所で工事が進められています。状況について伺っておりますので、私の方からお答えいたします。

ご質問の区間については、河道が狭く、かつ、蛇行を繰り返す部分であり、護岸整備されていない未改修河川となっています。県単の河川改修工事として、平成25年度から蛇行する部分などの線形を整えながら、河川の両岸に「かごマット」と言われる石材を詰めた鉄線かごを積み上げる工法で、樽川合流部分から上流に向けて護岸工事が進められています。令和5年度から6年度にかけては、右岸で70m、左岸で60mの護岸工事が実施されました。全体の工事計画区間は、樽川合流部分から国道403号の最接近部分までの約600mが計画区間であり、本年度までに約200m完了している状況であります。

村としても、河川に隣接し耕作されている皆様のご意見や地域の実情などをお伝えしながら、事業の促進について要望してきておりますので、よろしく願いいたします。

## 議長（勝山 正）

山本議員。

## 4番 山本隆樹 議員

平成25年（2013年）から進められ、10年以上かけて600m区間のうち、200mまでしか今進んでないというのが現状です。これは県の問題ですので、大きな進め方って言うのはこちらでは言えないんですが、ここは本当に水害の多い区域となっており、国道403号への影響もあります。県管理の河川であることから、これからも実情をしっかりと伝え、早められるよう要望していただきたいと思えます。

それでは、2件目の一般県道七曲西原線の改良工事について質問いたします。

西小路から中島区にかけての工事区間で、1級河川大川の前後においては、今年は改良工事は進められなかったです。大川に架かる橋の設計関係の変更に伴い対応しているとのことですが、通学路ということもあり、早期の完成を期待しています。現状の取組状況や今後の計画について伺う。

## 議長（勝山 正）

小松建設課長。

## 建設課長（小松宏和）

村内県道につきましても北信建設事務所で工事を進めていただいておりますので、状況について伺っておりますので、私の方からお答えいたします。

県道七曲西原線で現在事業化されているのは、中島地区の水穂神社前の交差点から西小路地区の西交差点、県道馬曲木島停車場線までの約330m区間です。残す工事箇所は、1級河川大川の橋梁前後の約150mとなっています。今年度工事は行われませんでした。昨年度から引き続き、橋梁の詳細設計が実施されています。

また、併せて、橋梁付近の物件調査や用地測量なども同時に進められている状況です。この箇所については、NTTの埋設管の移設が必要となり、村としても、この区間の詳細設計に合わせて、大川に架かる水道の水管橋や、下水道のマンホールポンプ施設などの移転に関する調整が必要になってくるといった状況でもあります。

今後の工事予定ですが、北信建設事務所整備課によりますと、用地補償などの業務が完了次第、速やかに工事实施できるよう対応していきたいとのことでもあります。

よろしくお願ひいたします。

**議長（勝山 正）**

山本議員。

**4番 山本隆樹 議員**

本当にそこだけちょっと今狭く、通学路としても車の移動としても、大変ちょっと不便を感じているところです。用地関係の業務が完了次第、速やかに工事实施に向け対応したいという回答ですが、実際の時期での工事が予想されているのか、分かる範囲で説明ください。

**議長（勝山 正）**

小松建設課長。

**建設課長（小松宏和）**

この区間の工事で一番重要になる部分というのが橋梁の部分ということになります。橋梁部分に接続する大川の上流側下流側の部分につきましても、護岸工事が必要になってくるという部分になってきます。河川工事になりますので、渇水期に行う必要があるということで、全て順調にいった状態でも、主要な橋梁部分の工事については、令和8年の3月頃の施工が考えられるということと聞いております。

よろしくお願ひします。

**議長（勝山 正）**

山本議員。

**4番 山本隆樹 議員**

順調に進んでも令和8年3月頃ということに進めているということに理解しました。

もう一点お聞きしたいのは、水穂神社前交差点から平和橋の方への道路の対応については、どう進められているのでしょうか。

**議長（勝山 正）**

小松建設課長。

**建設課長（小松宏和）**

現在、事業化されている部分については、先ほどお話ししました西の交差点から水穂神社前までということで、この部分を今進められているという状況になっておりまして、この工事区間が完了してから水穂神社の交差点の部分から平和橋方面へ事業化するというので、県の方からは聞いております。

**議長（勝山 正）**

山本議員。

**4番 山本隆樹 議員**

ここも通学路であったり、カーブがあってちょっと見通しが悪く、早めに進めていってほしいなという要望もあります。県への要望をこれからも続けていっていただきたいと思います。

## 2. リカレント教育の推進について

#### 4番 山本隆樹 議員

それでは、2点目のリカレント教育の推進について質問していきたいと思ます。

県内でも高校の統廃合が進み、空いてくる高校の施設を有効に活用する手段の場が検討されているようです。以前も、これからの農業を見据え、リカレント教育の推進について質問しました。その際、「村としても、下高井農林高校の施設、人材も含め、使ってほしい要望をしており、県の運用では課題は多いが、将来的にスマート農業等に進め、ドローン等の整備も県の方に要望し進んできている。施設の整備を進め、活用する手段としてリカレント教育など県、そしてまた県教育委員会に要望していきたい」という答弁でした。

下高井農林高校の歴史を見ると、農業経営の改善を図るため「養蚕強化」を取り入れ、学校の教育活動だけでなく、地域活動まで広げ、下高井農林高校の存続の意義を広め、地域外からも学びの人を受け入れ、養蚕の活動に寄与した例があります。また、地域との連携活動で成人大学講座が開講され、高等学校が持っている専門的教育機能や施設を活用し、一般の成人を対象にした講座も開かれました。その後も学校開放講座が開設され、取り組んできた実績があります。

ここで言うリカレントっていう意味は「社会人の学び直し」というより、行政、村がアイデアを出して、今後の農業教育の場として農林高校の施設の活用方法を県に申請し、少子化もあり、村の農業のあり方も、農業高校との連携でリカレント教育を生かした木島平モデルを作り上げていくことが特徴ある村づくりに繋がると思ます。いかがでしょうか。

#### 議長（勝山 正）

日碁村長。

#### 村長（日碁正博）

これまで岳北地域における高校教育のあり方について、計3回、県教育委員会に意見・要望書を提出したところであります。その結果、現在の「中山間地存立校」の基準に至っているということでもあります。

意見・要望書を提出する中で、下高井農林高校の特色ある学校づくりに、様々な可能性について検討をいたしました。その中で、リカレント教育についても話題にいたしました。施設設備や地域需要、人件費等、県で運用するのは難しいと。この点については、以前、山本議員のご質問にもお答えしたとおりであります。

令和7年（来年度）であります。1月、県の教育委員会から高校教育における「再編に関する基準等の再検討に係る意見交換会」を実施する計画が示されております。その背景には、想定を上回る少子化の進行や通信制高校を選択する生徒の増加、そして、県議会からも現行の再編基準を見直す必要があるとの意見が出されている、そういう背景があります。

第1回の再編に係る意見交換会の構成員には、有識者、市町村、市町村教育委員会、保護者、教職員、産業界などで構成をされております。県立高校の特色化に関する意見交換会が実施されますので、再び下高井農林高校の特色ある教育活動について提案する機会でもあります。

その中で、下高井農林高校は「地域の拠点となる人材を育てる職業専門高校」としての重要性を伝え、更に魅力的な高校として内外に発信するために、スマート農業等を目指したドローン等の整備、農業経営を実践的に学ぶための「仕入れ、生産、加工、販売、流通」等を、木島平村ほか地域と連携して取り組むことなどを要望していきたいと考えております。

あわせて、下高井農林高校の校舎や人材を社会人の学び直しの場として活用することも提案していきたいと考えています。

#### 議長（勝山 正）

山本議員。

#### 4番 山本隆樹 議員

県としても、農業大学校とか農業高校へこれからの農業のあり方を見据えて、農業教育高度化プランの作成を支援しています。例えば、スマート農業のカリキュラムの強化、高校等への出前授業など若者の就農意欲を喚起するための活動も視野に入れていきます。

そういう環境の中で、これからの農業のあり方を、社会人を巻き込んで進めていけないのか。木島平村には下高井農林高校があり、岳北地域の農業従事者・就農意欲のある方（個人、企業も含めて）、また、移住者等のそういう教育の場、リカレントの場ともなり、農業高校との連携で、村と農業高校の存続の道が開かれていけると思うんですね。それで思うんですが、誰がそういうことをリーダーとなってやっていくんだという組織を作り上げていくのが、その役割を担っているのは、行政のような気がするんですけども、いろんな例で言ってそんな例はないとか、難しいとかっていう回答はあると思うんですが、いろんなところでやっぱりそういう課題の多い問題でも、各自治体の中でもトップとして、俺のところはやってくよという一つのモデルを作っている自治体っていうのはあるわけですね。そういうのが、リカレント教育と下高井農林高校が本当に連携した、何か本当の村づくりの未来を作り上げていける一つのチャンスと言っていいのか、挑戦って言うっていいのか、そういうものを村の行政として、本当に力強く進めていっていただきたいと思うのですが、いかがでしょうか。

#### 議長（勝山 正）

日臺村長。

#### 村長（日臺正博）

ご存知のとおり、今、日本全体で農家数の減少、そしてまた高齢化が進んでいるということで、村でも新規就農者についての支援等を強化しているわけではありますが、実際、下高井農林高校を卒業してすぐ農業に従事するというのは、言ってみれば少なくとも、新規就農者については、ある程度別のお仕事で社会人経験を積んだ後、就農するというのが実態かなと感じております。

そんな面で、今ある先ほど申し上げました下高井農林高校の施設や人材を、一定程度社会経験を積んだ人が新規就農するための、言ってみればリカレント教育の場として活用する可能性は十分あるだろうと考えております。そんな面で以前から提案しているわけでもあります。

そのためには、まずやはり高校と地域がしっかり連携をする、そういう仕組みが必要だろうということで、村では地域連携のコーディネーターを配置しているわけでもあります。それらの活動を通して更に高校と地域の関係を密にしながら、議員が提案されたような内容について、村としても要望しながら取り組んでいきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

#### 議長（勝山 正）

山本議員。

#### 4番 山本隆樹 議員

本当に今後の木島平、農林、一つの地域の農業のあり方として、本当に振興公社とのタイアップだとか、県の北信地域振興局、北信農業農村支援センターというのも協力をいただけるよというようなことも聞いております。県と村と本当にそういう繋ぎ方をしっかりして、この村が、農林高校が、本当に一つ挑戦していける場をしっかりと作っていただきたいということで、今回の質問を終了させていただきます。

#### 議長（勝山 正）

以上で、山本隆樹 議員の質問は終わります。

(終了 午前10時24分)

**議長(勝山 正)**

ここで暫時休憩します。

再開は10時35分とします。

(休憩 午前10時24分)